

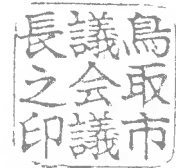


発鳥市議第314号

令和6年1月30日

鳥取市長 深澤 義彦 様

鳥取市議会議長 西村 紳一郎



議会報告会・意見交換会からの意見等について（通知）

本市議会が10月29日鳥取市役所本庁舎にて開催した、議会報告会・意見交換会において、市民から鳥取市政に生かすべき意見が多く出されました。

つきましては、下記意見を参考に各事業に取り組まれるようお願いいたします。

記

1 SDGs 未来都市について

市民が鳥取市を誇れるための環境づくりや、SDGsにも影響する市民意識の醸成が、鳥取市の未来の都市づくりにとって重要ではないか。また具体的には、「高校生のアイデアを参考にする」、「鳥取市の名産を紹介するグランピングを提供する」、「ビジネスマッチングを促進する」などの意見が出された。鳥取市を元気で魅力あるまちにするために、将来を担う若者の意見や民間の力をもっと活用するべきと考える。

2 滞在型観光について

市内に点在している観光コンテンツ（砂丘などの自然、アクティビティ、食、伝統文化）などをつなぎ合わせるとともに、宿泊や移動手段も含めたトータルコーディネートが求められる。その中心となるコーディネーターやコンシェル

ジュの人材育成が急務であると考えている。

また、情報発信については内からの視点ではなく、外からどう見られているかを再認識した視点で行うのがいいのではとの意見が出された。

3 鳥取駅周辺の賑わい創出について

駐車場問題や賑わい創出において、パブリックビューイングなど人が集まり交流できる場所、イベントができる空間、ランドマークになるような施設の整備に関する意見が出された。

また、空き店舗が多く、所有者の意識改革や若者の出店につながる政策が必要、个性的で小さな店を増やし交流人口を増やす、昭和の建物を生かしたウォーキングルートづくりで町歩きの楽しさを創出し人を呼び込む、シャッターに漫画を描き閉店後の町歩きやインスタ映えの工夫をして滞在型観光につなげるなど多くの意見が出された。

今後、駅周辺の再整備の検討に当たっては、市民の意見はもちろん、公共施設や個人所有の店舗の利活用、駐車場や人が集まれる場所や空間、施設整備の観点を持ち事業に取り組むべきと考える。

4 未来に向けての公共交通について

公共交通への要望として、路線バスの情報や運行情報が得にくく、利用しにくいいため、運行情報などを提供するサービスの新設や目的地に直結する交通網の整備、観光地を結ぶルートの整備により、サービス向上につなげていくべきなどの意見が出された。

今後、公共交通利便性向上の観点を持って事業に取り組むべきと考える。

また、運転手不足の解決策として、自動運転化の実現に向けた取組を着実に進めていく必要があると考える。